

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 城西大学

## (2) 大学名

城西国際大学大学院

## (3) 大学の位置

〒283-8555

千葉県東金市求名1番地

(〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 調査対象研究科等の名称、定員等

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
国際アドミニストレーション研究科 国際アドミニストレーション選考(修士課程) 修士(国際アドミニストレーション)	年 2	人 35	人 70	(変更前:入学定員25人) (変更年月:平成28年4月) (報告年度:平成28年度)  基礎となる学部等 大学院人文科学研究科 国際アドミニストレーション専攻 国際人文学部 国際交流学科

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

## 2 既設大学等の状況

大学の名称	城西国際大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 員 定 員	収 定 容 員	学位又 は 称 号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
経営情報学部 総合経営学科	4	400	3年次 20	1,820	学士 (経営情報)	0.73	平成17年度	千葉県 東金市 求名 1番地	平成24年度より定員 変更△40 平成28年度より定員 変更△60
国際人文学部 国際文化学科	4	200	—	820	学士 (国際文化)	0.68	平成04年度	同上	平成24年度より定員 変更△20
国際交流学科	4	80	—	320	学士 (国際交流)	0.66	平成08年度	同上	平成20年4月より学部 名称変更
福祉総合学部 福祉総合学科	4	120	3年次 10	500	学士 (福祉総合)	0.69	平成19年度	同上	平成24年度より定員 変更△40
理学療法学科	4	240	—	730	学士 (理学療法)	0.76	平成28年度	同上	平成28年度より定員 変更△20
薬学部 医療薬学科	4	140	3年次 5	630	学士 (薬学)	0.73	平成18年度	同上	平成24年度より定員 変更△20
メディア学部 メディア情報学科	6	80	—	80	学士 (メディア情報)	1.02	平成17年度	同上 及び 東京都千 代田区平 河町2丁目 1番4,8	平成24年度より定員 変更40 平成25年度より定員 変更60 平成28年度より定員 変更20
環境社会学部 環境社会学科	4	300	3年次 20	1,180	学士 (社会学)	1.20	平成22年度	千葉県 東金市 求名 1番地	平成28年度より定員 変更△20
看護学部 看護学科	4	60	—	300	学士 (看護学)	0.57	平成24年度	同上	
観光学部 ウェルネスツーリズム学科	4	100	—	400	学士 (観光学)	1.20	平成18年度	千葉県鴨 川市太海 1,581番地	平成24年度より定員 変更△20

大学の名称	城西国際大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員定員	収容員定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院 人文科学研究科		61		118		1.52			
比較文化専攻 (博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (比較文化)	2.11	平成10年度	千葉県東金市求名1番地	
国際文化専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (国際文化)	1.06	平成08年度	同上	
女性学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (女性学)	0.43	平成08年度	同上	
グローバル コミュニケーション専攻 (修士課程)	2	25	—	40	修士 (国際文化)	1.30	平成25年度	東京都千代田区平河町2丁目1番4,8	平成28年度より定員変更10
国際アドミニ ストレーション専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (国際アドミニ ストレーション)	—	平成14年度	同上	平成25年度より学生募集停止
大学院 経営情報学研究科		26		58		1.01			
起業マネジメント専攻 (博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (経営学)	0.33	平成12年度	千葉県東金市求名1番地	
起業マネジメント専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (経営学)	1.57	平成10年度	同上	
大学院 ビジネスデザイン研究科									
ビジネスデザイン専攻 (修士課程)	2	30	—	50	修士 (経営学)	1.32	平成17年度	東京都千代田区紀尾町3番地26号	平成28年度より定員変更10
大学院 国際アドミニストレーション 研究科									
国際アドミニ ストレーション専攻 (修士課程)	2	35	—	60	修士 (国際アドミニ ストレーション)	0.85	平成25年度	同上	平成28年度より定員変更10
大学院 福祉総合学研究科									
福祉社会専攻 (修士課程)	2	25	—	50	修士 (福祉社会)	0.20	平成17年度	千葉県東金市求名1番地	
大学院 薬学研究科									
医療薬学専攻 (博士課程)	4	3	—	12	博士 (薬学)	0.58	平成24年度	千葉県東金市求名1番地	

大学の名称	城西大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定 学員	編入学員 定員	収定 容員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
経済学部 経済学科	4	300	—	1,200	学士 (経済学)	1.05	昭和40年度	埼玉県 坂戸市 けやき台 1-1	平成18年度より定員 変更△170
経営学部 マネジメント総合学科	4	500	—	2,000	学士 (経営学)	1.09	平成16年度	同上	
現代政策学部 社会経済システム学科	4	250	—	1,000	学士 (現代政策)	1.02	平成18年度	同上	
理学部		210		690		1.27			
数学科	4	120	—	360	学士 (理学)	1.38	昭和40年度	同上 及び 東京都 千代田区 平河町2丁 目1番4,8	平成25年度より定員 変更40
化学科	4	90	—	330	学士 (理学)	1.12	昭和40年度	埼玉県 坂戸市 けやき台 1-1	平成25年度より定員 変更10
薬学部		400		2100		1.22			
医療栄養学科	4	100	—	400	学士 (医療栄養学)	1.14	平成13年度	同上	
製薬学科	4	—	—	—	学士 (薬学)	—	昭和48年度	同上	平成18年度より学生 募集停止
薬学科	4	—	—	—	学士 (薬学)	—	昭和48年度	同上	平成18年度より学生 募集停止
薬学科	6	250	—	1,500	学士 (薬学)	1.24	平成18年度	同上	
薬科学科	4	50	—	200	学士 (薬科学)	1.38	平成18年度	同上	

大学の名称	城西大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定 学員	編入学員 定員	収定 容員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院									
経済学研究科 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (経済学)	1.10	昭和53年度	埼玉県 坂戸市 けやき台 1-1	
経営学研究科 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (経営学)	1.49	平成15年度	同上	
理学研究科		27		54		0.27			
数学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (理学)	0.19	平成10年度	同上	
物質科学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士 (理学)	0.37	平成16年度	同上	
薬学研究科		46		101		1.27			
薬学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士 (薬学)	—	昭和52年度	同上	平成22年度より学生 募集停止
薬学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (薬学)	—	昭和54年度	同上	平成24年度より学生 募集停止
薬学専攻 (博士課程)	4	3	—	12	博士 (薬学)	1.99	平成24年度	同上	
薬科学専攻 (博士前期課程)	2	20	—	40	修士 (薬科学)	1.00	平成22年度	同上	
薬科学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (薬科学)	0.55	平成24年度	同上	
医療栄養学専攻 (博士前期課程)	2	20	—	40	修士 (医療栄養学)	0.70	平成17年度	同上	
医療薬学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士 (医療薬学)	—	平成10年度	同上	平成22年度より学生 募集停止

大学の名称	城西短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
ビジネス総合学科	2 年	120 人	— 年次 人	240 人	短期大学士 (ビジネス総合)	0.66 倍	平成18年度	埼玉県 坂戸市 けやき台 1-1	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

### 3 教員組織の状況

<国際アドミニストレーション研究科 国際アドミニストレーション専攻（修士課程）>

#### (1) 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)
13	2	0	0	15	14	2	0	0	16
(13)	(2)	(0)	(0)	(15)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
9	0	6		10	0	6			
(9)	(0)	(6)							

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
- ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

#### (2) 年齢構成

年齢構成	
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
70 (平成19年4月1日以降の採用者は65)	10
歳	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

#### 4 前年度のAC調査において付された意見への対応状況

意見	履行状況	未履行事項についての実施計画
<p>国際アドミニストレーション研究科国際アドミニストレーション専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	<p>改善意見</p> <p>専任教員の定年年齢を超えて在職している教員の割合が高いことについては、大学院研究科として研究業績、指導力のある多彩な教員を確保するためにも必要なことと認識している。 新たな教育組織編成及び将来構想を踏まえて、早急に検討・対応する。</p>	<p>今後の改善計画として、早急な対応が必要なため、同国際アドミニストレーション専攻の教員組織の見直しと将来構想を踏まえた人事計画を策定し、着実に実行する。</p>
<p>既設学部等（理学部数学科）の入学定員超過の改善に努めること。</p>	<p>改善意見</p> <p>定員超過率が一昨年1.32倍であったため、歩留まりの精査検討を行い、昨年度は1.07倍に収まった。本年度は昨年度の歩留まりをもとに判定した。しかし、本年度、手続き者の歩留まりが昨年より大幅に低下したため、追加合格を行ったところ追加合格者の歩留まりは逆に動き、1.49倍の超過を招いた。現在、得点ゾーン毎の検討を実施している。</p>	<p>本年度の得点ゾーンごとの歩留まりを精査検討し、来年度は、受験生の得点分布をベースにした正確な歩留まりの予想と、適切な判定に努める。</p>
<p>既設学部等（城西国際大学環境社会学部環境社会学科、観光学部ウェルネスツーリズム学科、城西短期大学ビジネス総合学科）の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p> <p>1）城西短期大学は、平成27年度において充足率が0.63であったが、平成28年度には充足率は0.7に上昇した。短期大学を希望する学生の多様化を図り、特に平成28年度には留学生を確保することにより充足率が上がった。 2）環境社会学部環境社会学科では、募集活動等の見直し・強化と併せて、平成28年4月より入学定員を80人から60人と20人削減した。その結果、平成27年度の平均入学定員超過率が0.52倍であったのに対し、平成28年度の同率は0.57倍となった。不十分ながらやや回復傾向にある。 3）観光学部ウェルネスツーリズム学科では、募集活動等の見直し・強化を行った。結果、平成27年度の平均入学定員超過率が0.52倍であったのに対し、平成28年度の同率は0.59倍となった。不十分ながらやや回復傾向にある。</p>	<p>1）城西短期大学の充足率が上昇したといっても、0.7倍であり、今後とも短期大学への社会的なニーズをふまえ、多様な学生の確保のために学生募集活動を活発化するとともに、多様な学生のためのカリキュラムの充実を図る。 2）左記のとおり、募集活動の見直し・強化や、入学定員の見直しにより、収容定員の充足率は未達ながらも、一定の改善がみとれる。今後更に学生確保に総力を注ぎ、入学定員並びに収容定員充足に努める。 3）左記のとおり、募集活動の見直し・強化により、収容定員の充足率は未達ながらも、一定の改善がみとれる。今後更に学生確保に総力を注ぎ、入学定員並びに収容定員充足に努める。</p>

（注）・前年度のAC調査において付された意見への対応状況を具体的に記入するとともに、

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

なお、未履行事項がある場合は、今後の実施計画を具体的に記入してください。